

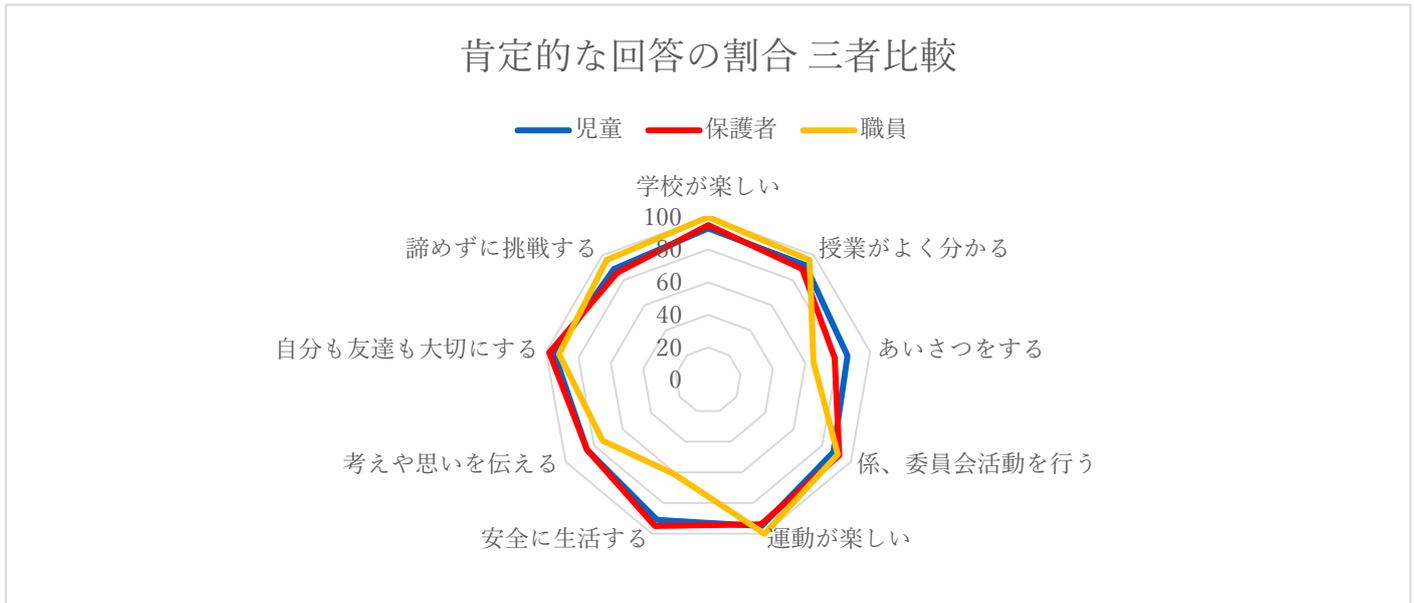
保護者様

富士市立富士中央小学校  
校長 福島 潤子

令和7年度 第1回「学校評価」集計結果の報告

保護者の皆様には、日頃より本校の教育にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、4月から7月までのお子さんの様子やご家庭における保護者の皆様の取組、富士中央小の教育活動を振り返り「学校評価」をしていただきました。まもなく前期を終える時期となりますので、結果をご報告するとともに、後期や来年度の教育活動の改善に結果を生かしてまいります。今後も子供たちのより良い成長を目指して、家庭と地域、そして学校との連携を深めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



**ランドデザイン数値目標**

児童の評価項目	できている	まあできている	合計	ランドデザイン 目標値	
学校が楽しい	54.9%	38.1%	93.0%	92%	↑
授業がよく分かる	52.6%	38.9%	91.5%	90%	↑
あいさつをする	51.6%	34.2%	85.8%	80%	↑
係、委員会活動を行う	58.6%	29.4%	88.0%	90%	↓
運動が楽しい	78.5%	16.1%	94.6%	95%	↓
安全に生活する	60.0%	30.8%	90.8%	96%	↓
考えや思いを伝える (富士中校区共通項目)	46.6%	38.3%	84.9%	88%	↓
自分も友達も大切にする (富士中校区共通項目)	41.4%	53.2%	94.6%	95%	↓
諦めずに挑戦する (富士中校区共通項目)	62.3%	27.1%	89.4%	88%	↑

★学校生活全体に関して

「学校は楽しい。」「よい表情で学校に行っている。」は、93%の子供と95%の保護者の皆様、全職員が肯定的に捉えています。しかし、「困ったことを富士中央小の先生に気軽に相談できる。」では、あまり相談できていない12.4%、相談できない4.3%と回答した子供たちもいました。子供たちが話しやすい雰囲気を作ったり、子供たちの話に十分に耳を傾け受け止めたりしながら、一人一人に居場所がある学校を築き、「中央小学校は、安心して子供を任せられる」と、引き続き多くの保護者の皆様に言っていただけるようにしていきます。

★授業や学習面に関して

『かかわりを大切にしながら、自分らしく追究する子の育成』を研修テーマにし、授業の充実を図り、確かな学力の定着を目指しています。また、年度当初に各学級で目指す授業や重点項目を話し合う時間を十分にとり、

教室や職員室前廊下に掲示して、意識を高めています。

グランドデザインの数値目標 90%を超える児童が「授業はよくわかる。」と肯定的に回答し、日々の授業を頑張っている姿が伝わってきます。しかし、「先生や友達に自分の思いや考えを分かりやすく伝えることができる。」では、富士中校区三校で設定した目標 88%に届きませんでした。ペア学習やグループ学習などの学習形態の工夫、ICT機器の効果的な活用など、さらに深めて考えていきたいと思えます。

「読書」に関する問では、前年度より7%数値を伸ばしています。熱中症指数が高く外遊びができない時などにも多くの児童が本に触れていました。また、6月中旬から夏休み前日までの期間で行われていた「七夕読書旬間」では、図書委員会からの提案「わくわく先生読み聞かせ」「読書掲示板を作ろう・読書ビンゴ」などの活動を通して、読書活動を楽しみながら充実させることができました。

#### ★挨拶、係・委員会などの活動に関して

「自分から進んであいさつをしている。」では、子供たち(86%)保護者(78%)職員(65%)との間に大きな差が見られます。本校では、今年度も生活委員会の活動として、休み時間にあいさつ運動をしながら校舎内を回ったり、元気なあいさつをしているクラスを昼の放送で発表したりする活動をしています。夏休み明けの週には、登校時に運営委員が昇降口に立ち、あいさつ運動に取り組み、あいさつができるようになった証として、ホワイトボードの羽に赤色が塗られました。しかし、登下校の際の昇降口や、廊下や階段などですれ違う子供たちの姿からは、まだまだ課題を感じています。今後も、今まで以上に家庭や学校、地域が一体となってあいさつを広げ根付かせていけるとよいと思えます。

#### ★運動・安全面に関して

運動面に関する項目では、数値目標をほぼ達成する数値となっています。中央オリンピックでは、学級や学年の友達と力を合わせて頑張る姿を見ていただけたと思えます。水泳の学習においては、ボランティアの保護者の皆様にもお力を借り、安全面も十分確保しながら取り組むことができました。

安全面では、例年と同様に、「学校生活の中で安全に気を付けて生活している。」では、子供たちと保護者の皆様の数値に比べ、職員の数値が低いものになっています。登下校中の歩き方、校舎内での過ごし方、帰宅後の遊び方など、自分の命を自分で守ることと同時に、周囲の方のことも考えて行動することについて、様々な場面で繰り返し指導を続けています。しかし、校舎内での危険な場面、登下校時のけが、帰宅後の公園等での過ごし方について、地域の方からご指摘を受けるような連絡など、心配な事象がなかなか減りません。職員の数値については、子供たちの安心安全な生活を築いていく意識を常に持っている表れとご理解いただければと思えます。

#### ★保護者アンケートのご意見より

本校の教育をより良いものにしていくためのご意見やご提案をたくさんいただきました。すべてにお答えすることはできませんが、学校の考えや対応をお知らせします。

・「先生が忙しそうで伝えたいことを伝えられないと言っています。子供は先生と話せるとうれしいようで、家でも話してくれています。気兼ねなく先生と会話できる時間が設けられるといいです。」

→奇数月を基本として、年間6回の友達アンケートを行い、必要に応じて個別に会話したり、6回のうち2回は、アンケート後の昼休みをロング昼休みにし、全員と話をする教育相談週間を設定したりして、一人一人とのかかわりを持つ時間も計画されています。もちろん普段の休み時間にも、運動場で一緒に遊んだり、教室でお話をしたりしながら、楽しく触れ合っている姿も見られます。子供たちとのかかわりを大切に、よりよい関係を築き、子供理解にもさらに努めていきます。

・「一週間の予定をプリントで伝えていただいたり、いろいろな連絡がアプリに入ったりするのも便利でありがたい。」

→昨年度末のお便りで、お便り配付のPDF化を進めていくことをお伝えしました。学校だより、給食だより等、種類や内容によって検討しながら進めています。今後も、子供や教職員のよいところも募集させていただきます。ご協力お願いいたします。